ポスター発表

2025年11月1日(土) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-23] 都市近郊森林の環境評価：豊田市自然観察の森を対象とした多面的機能の定量分析

*金 炫禎[1] (1. 株式会社地域環境計画)

キーワード：環境評価、机上予測

自然環境の評価には、現地調査に多大な時間と労力を要するという課題がある。本研究では、都市圏に残る貴重な里山的自然環境である「豊田市自然観察の森」の主要エリアおよびその周辺を対象に、現地調査を行わずに都市近郊林の多面的機能を簡便に評価する手法を検討した。可視域空撮画像のほか、Landsat データや数値標高モデルなどのオープンデータを用い、クールアイランド効果、生物多様性ポテンシャル指数（BDPI）、CO_2 吸収量の 3 指標により評価した。その結果、クールアイランド効果は隣接市街地に対し平均 7.5℃の顕著な温度低下が確認され、BDPI も高い値を示した。年間 CO_2 吸収量は約 3.6 トン/ha と推定され、成熟林として妥当な水準であった。本手法は汎用性が高く、都市計画や保全戦略における事前の机上評価に有効であることが示唆され、豊田市自然観察の森はそのモデルケースであり、貴重な里山的自然環境としての高い価値を有していると考えられる。

©一般社団法人地理情報システム学会